

障害のある人への関心と理解を深めましょう

12月3日(金)～9日(木)は障害者週間です。障害者週間とは、障害への関心と理解を深めてもらい、障害のある人が社会や文化などあらゆる分野の活動に積極的に参加することを推進する期間です。

共生社会の実現に取り組みます

市は、「障害を理由とする差別をなくし誰もが共に生きる北九州市づくりに関する条例(通称:障害者差別解消条例)」を制定しています。この条例では、市民や事業者、市が協力して「障害を理由とする差別の解消」に向けて取り組む共生社会の実現を目指しています。

障害のある人への配慮を考えましょう

障害のある人がどんな配慮を必要としているかを具体的に聞き、よく話し合うことが大切です。その人の障害の特性にあわせた対応を考えましょう。

障害に応じた配慮の具体例

精神障害	言語障害
<p>コミュニケーションの苦手な人がいます</p> <p>会話で困ったら…</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特性を正しく理解し、穏やかな対応を心がけましょう ●ゆっくりしていねいに、簡潔に伝えましょう 	<p>話し言葉や文字が理解できない、うまく言葉で表現できない、文字をうまく書けない人がいます</p> <p>うまく伝わらないときは…</p> <ul style="list-style-type: none"> ●表情や身振りを交えて話しましょう ●写真などを示してわかりやすく説明しましょう

問 保健福祉局障害福祉企画課 ☎582・2453

犬や猫にマイクロチップ装着が義務化されます

マイクロチップについて

動物の愛護及び管理に関する法律が改正され、令和4年6月1日から、犬や猫の販売の際には、マイクロチップの装着登録が義務付けられます。

災害や盗難などで、飼い主と離ればなれになっても、マイクロチップが装着されていれば、飼い主情報と照合することで、飼い主のもとに戻ってくる可能性が高くなります。

法律では、既に飼われている犬や猫にも装着が努力義務となります。詳しくはお近くの動物病院にご相談ください。

マイクロチップとは

マイクロチップは、直径2mm、長さ約8～12mmのカプセル状のものです。15桁の数字が記録されており、専用の読取器で読み取ることが出来ます。動物の個体識別(身元証明)の方法として、世界中で利用されています。

避妊・去勢手術について

犬や猫の避妊・去勢手術をすることで「子犬や子猫が増え過ぎて飼うことができなくなった」ということもなくなります。

問 動物愛護センター ☎581・1800



▲マイクロチップ



また、生殖器の病気が予防できるなどのメリットがあります。飼い主の責任として避妊・去勢手術を実施しましょう。

わたしの北九州自慢

部埼灯台とそこから望む景色



へ さき 部埼灯台

(明治5年建築 国指定重要文化財) 所在地: 門司区

1月15日号のプレゼントや応募方法は11ページで紹介しています。

門司区白野江周辺に詳しい友人に連れて行ってもらいました。夏の晴れた日に、予備知識なく訪れたのですが、本当に素晴らしい景色で、清々しい風も気持ち良かったです!

私は生まれも育ちも北九州ですが、この日に初めて訪ね、こんな素晴らしい場所があるのか!と感動でした。僧清虚の像は、エピソードを知ってから、その魅力を味わっていただきたいと思います。 投稿者S.Jさん(小倉南区)

問 広報室広報課 ☎582・2236

※ 広告の申し込みは(株)ホープ ☎092・716・1404まで。 ※ 広告内容と北九州市とは直接関係ありません。